



札幌市では、全ての市立幼稚園・認定こども園・学校における幼児児童生徒の発達の段階を踏まえ、創意工夫を凝らした特色ある教育活動等を進めるために、特に重点となる施策や教育内容について定めています。令和3年度の重点について、お知らせいたします。

令和3年度 札幌市学校教育の重点

～市立幼稚園・認定こども園・学校はこれに取り組みます！～

※本紙では「幼保連携型認定こども園」は幼稚園の段階に相当するものとします。

全ての教育活動において重視します。

- ①感染症対策を講じた学校教育の推進（学習内容や方法の工夫による学びの継続）
- ②「小中一貫した教育」の推進（9年間を見通した系統性・連続性のある教育）
- ③ICTを活用した教育の推進（1人1台端末の効果的かつ積極的な活用）



知・徳・体の調和のとれた育ちを推進します。

学ぶ力の育成では

分かる・できる・楽しい授業づくりの充実を進めます。

- ①「子どもが自ら考え、判断し、表現する学習活動」の充実
- ②「自分への自信につなげるきめ細かな指導」の充実



豊かな心の育成では

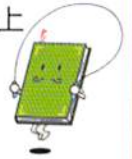
互いに尊重し、支え合いながらよりよく生きようとする態度を育みます。

- ①考え、議論する道徳の充実
- ②命を大切にする指導の充実
- ③いじめの防止・早期発見・対処の取組
- ④不安や悩みを抱えた子どもに対する教育相談体制の構築

健やかな体の育成では

生涯を通じて運動に親しむための基礎を培うとともに、積極的に心身の健康の保持増進を図る資質・能力を育みます。

- ①体力・運動能力の向上
- ②部活動の質的充実
- ③食育など、健康に関する指導の充実



札幌らしい特色ある学校教育を推進します。

「札幌らしい特色ある学校教育」は、全ての市立幼稚園・認定こども園・学校が共通に取り組む札幌の自然環境・人的環境・文化的環境などを生かした学習活動です。

札幌らしい特色ある学校教育の中核となる三つのテーマと推進のための三つのキャラクター→

雪国札幌を考える

【雪】



「ゆっぼろ」

未来の札幌を考える

【環境】



「ちっきゅん」

学びの基盤となる

【読書】



「おっほん」

子どもの発達への支援を推進します。

子ども一人一人の発達を支える視点から、特別な配慮を必要とする子どもへの教育を推進します。

- 子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育
- 新たな不登校を生まない未然防止の取組と組織的・計画的な不登校支援
- 帰国・外国人児童生徒等に対する教育の充実



信頼される学校の創造を推進します。

- 家庭や地域とともに進める学校づくり（さっぽろっ子「学び」のススメ、学校評価の活用など）
- 教育の資質・能力の向上（学び続ける教員の育成、研究・研修による資質・能力の向上など）
- 安全教育（子どもが危険から自ら身を守ろうとする態度や能力の育成など）

教科等の枠組を越えた教育を推進します。

- 進路探究学習（キャリア教育）（生き方や進路について考える学習、キャリア教育の充実、職場体験など）
- 人間尊重の教育（民族教育、子どもの権利の理念に基づいた指導、性的マイノリティに配慮した教育など）
- 国際理解教育（外国語教育の充実、異文化理解の深化、平和に関する教育の充実など）



学校・家庭・地域の連携による取組の推進

子どものよりよい成長を願って

子どもは、どの子もよさや可能性をもっています。
大人は子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。

園・学校で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。

札幌市ではこのような考えを大切にし、教育委員会では、「さっぽろっ子「学び」のススメ（【幼児版】を含む）」という家庭向けリーフレットを、市立園・学校（【幼児版】は活用を希望する幼児教育施設）にお子様を通わせているご家庭に配付しています。これは、園・学校・家庭・地域が互いに協力して、子どもの学習習慣・運動習慣・生活習慣づくり（【幼児版】は「学びの土台づくり」）を進めることを目指しているものです。



札幌市の公式ホームページでも見ることができます。

学校も、家庭も、まほうのかいわを合言葉に習慣づくり



★このような「まほうのかいわ」をしてみませんか★

<p>「～しなさい」メッセージより、背中を押すメッセージを！</p> <ul style="list-style-type: none"> 「～ができるようになっていたんだね。」 「～について、目指したいことは何？」 「～を頑張ったら、どんな自分になれると思う？」 「自分で決めることが大切。自分で決めるまで待ってるよ。」 	<p>「YOU」メッセージより、「I」メッセージを！</p> <ul style="list-style-type: none"> 「～って楽しいね。その気持ち、わかるよ。」 「漢字をこんなに書けるようになっていて、感心したよ。」 「毎日、縄跳びを頑張っている姿が見られて、うれしいな。」 「お手伝いをしてくれて、ありがとう。」 	<p>「～続けなさい」メッセージより、「一緒に」メッセージを！</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おもしろそうだね。どうやったらできるか教えてくれる？」 「学校でどんな勉強をしてきたの？一緒に振り返ってみようか。」 「休みの日は、一緒にストレッチやウォーキングをしてみようか。」 「早起きできるようになる方法を一緒に考えてみようか。」 	<p>「できない」メッセージより、「安心できる」メッセージを！</p> <ul style="list-style-type: none"> 「今日も一緒にお話ししようか。」 「ちょっとイライラしているかな？一緒にストレス発散しようか。」 「家でもできる運動を一緒に考えて、続けてみようか。」 「思ったとおりにいかないこともあるよね。またやってみよう。」
---	--	--	---

就学援助・札幌市奨学金等のお知らせ

札幌市教育委員会では、小中学生の学用品費などを助成する就学援助や、高校・大学生などを対象とする札幌市奨学金など、子どもの学びを経済的な面から支える取組を行っております。

札幌市奨学金は、市民の皆様からの寄付金を基金に積立て、その運用益を返還不要の奨学金として支給しております。皆さまの御厚志により、昭和26年の制度創設以来、多くの生徒・学生の方がこの制度を利用し、社会で活躍されております。

札幌市の公式ホームページに各種助成制度を御案内しておりますので、是非ご覧ください。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/hojo.html>



さっぽろ市
02-S02-20-2205
R2-2-1340